スンナとは何か（2/2）：イスラ ム法におけるスンナ

：

明:
スンナを 成するもの、そしてイスラ ム法におけるその役割とは何か? 第２部：スンナとクルア ンの い、またイスラ ム法におけるスンナの立 。

目: 事イスラ ムの真 性を示す数々の 奇 と ンマドの 言者性に する

目: 事 言者ムハンマド彼の 言者性の

より: アブドッラフマ ン アル＝ムアラ 博士

日29 Mar 2010

集日 29 Mar 2010

スンナとクルア ンの い

クルア ンはイスラ ム法の根 にあたるものです。クルア ンとは、神によって天使ジブリル（ガブリエル）を仲介し、使徒（神の慈悲と祝福あれ）に 示された奇 の言 です。その 史的信 性は非常に多くの真性な 承 路により、疑いの余地のないものとなっています。クルア ンは一 の本としてまとめられ、その朗 は一つの崇 行 と なされます。

そしてスンナとは、神の使徒によってもたらされたクルア ン以外の全てのものを指します。スンナはクルア ンにおける 法の を 明するものです。またこれらの法を 践するための 例も提供します。それは神による直接の 示、または 示によって された、使徒の裁 も含まれます。 ってスンナの源泉は、その全てが 示であるということになります。

クルア ンは 礼上、崇 行 として朗 されるものですが、一方のスンナは 示ではあるものの朗 されるものではありません。しかしスンナはクルア ンと同 に遵守されるべき 示です。

クルア ンのスンナに する 越性には二点あります。第一に、クルア ンは神の直接の言 によって 始一 しており、奇 的性 のものであるということです。一方スンナは必ずしも神の直接の言 ではありませんが、 言者による、それらの意味の注 であるのです。

イスラ ム法におけるスンナの立

使徒の存命中、クルア ンとスンナはイスラ ム法における唯一の源泉でした。

クルア ンでは、一般的原 に基づいて 立された一部の 令以外では、二次的な立法制度や な手 を ることなく、法の基 を成す一般 令を与えます。これらの 令は 代の と共に わっていく性 のものでなく、状 の 化と共に人の手によって えられていくものでもありません。またクルア ンの内容は信仰 条、崇 行 の 定、 去の 国家の逸 や 理的指 を包含します。

そしてスンナはクルア ンに合意するものです。それは文体において明 でないものを 明し、概括的な表 の明 化を提供し、また何が概括的であるかを特定し、そして 令と目的を 明します。またスンナは、クルア ンにはない 令をもたらしますが、それらはクルア ンの原理に 和するものであり、クルア ンにおける目的の概要を提示します。

スンナとは、クルア ンの内容を 用的に表 するものです。この表 には多くの形があります。 には使徒による行 としての形をとり、また には何らかの に する解答としての供述という形をとります。そして には彼が禁止も反 もしなかった、教友たちの かによる行 の形をとります。

スンナは 々な方法によってクルア ンの 明をしたり、その意味を明 にしたりします。それは崇 行 の方法や、いかにしてクルア ンで言及されている法の遂行をするかを 明するのです。神は信仰者に し礼 の に言及しつつも、その回数や礼 作法には言及していません。使徒は彼自身の礼 の 践、そしてムスリムたちに礼 の方法を直接教えることにより、それを明 にしたのです。彼はこのように言っています: “私が行うように礼 をするのだ。”

また神はハッジ巡礼の　を明らかにしましたが、その　な 礼を 明することはしませんでした。神の使徒はこれに言及して述べました。

“????????????????”

また神はザカ　（　の　）　とされましたが、その 象となる　や　物の　には言及しませんでした、。またザカ がその　において される最低 も述べていません。しかしスンナはそれら全てを明 にしているのです。

スンナはクルア ンにおける概括的 述を明 化します。神は言われました：

“??”?????? 4?11?

この表 は概括的であり、全ての家族に 用され、子供は全 その　の相 者であるとします。スンナはこの裁定を更に具体的にし、 言者の子 はこの限りではないとします。神の使徒は言いました：

“??”

スンナはクルア ンによる 述をより一 明 にします。神は述べました：

“??”??????5?6?

この では でる手の　について述べられておらず、それが手首までなのか、あるいは腕まで含まれるのかという疑 を生じさせます。しかしそれが手首までであることを明 にするのが、スンナなのです。それは神の使徒が、水のない状 での小 においてそのようにしたからです。

また、スンナはクルア ンにあるものの　として、またその中で述べられている法への二次的立法としての役を果たします。それには礼 、ザカ 、 戒、そしてハッジ巡礼が　であるということを示す全てのハディ スが含まれます。

スンナによる、クルア ンの中の 令に する 足的な立法の提供例としては、果物が熟れ初める前に ることを禁じるスンナが げられます。この法の根 はクルア ンの 述に存在します:

“??”?????? 4?29?

スンナにはクルア ンにおいて 述されていない裁定や、クルア ンで 述されているものの、明 にされていない裁定が含まれています。その例として、ロバと肉食 の肉を食べることの禁止が げられます。また の例としては、ある女性とその叔母を一 に娶ることの禁止などもあります。スンナにより提供されるこれらの裁定は、遵守されなければならないものです。

スンナ遵守の

言者性を信じるにあたっては、神の使徒の 言を全て真 であると信じることが求められます。神はかれの法を人 に えるため、かれのしもべの中から 使徒をお びになったのです。神は述べられています:

“??????????????????????????????????????”?????? 6?124?

また神はこうも仰いました:

“??????????????????????????????????????”??????16?35?

使徒はその行 において、ありとあらゆる いから保 されています。神は、彼が真 以外をすことから保 されているのです。また神は、彼の四肢が正しい行 から外れたことを行うことからも保 されました。

また神は、彼がイスラ ム法に反するものを承 することのないよう、彼を られました。彼は神の 造物の中でも、最も理想的な存在なのです。これは神がクルア ンにおいて、いかに彼を描写するかを れば明白です。

“??”?????? 53?1?4?

私たちはハディ スから、いかなる状 下であっても、またいかなる みを用いようとも、言者の る真 を阻止できないことが分かります。彼は怒っていても、そのことが彼の 言に影 することはありませんでした。彼は冗 を言うときでさえ、虚 を らなかったのです。また彼の 人的な 心事も、彼を真 の 言から阻むことはありませんでした。彼が求めた唯一の目的とは、神のご 悦を得ることのみだったのです。

教友アブドッラ ブン アムル ブン アル＝ア スは、神の使徒の ること全てを き留めていたと 承しています。そのことに し、クライシュ族はこう言って彼を阻止しようとしました：“彼は喜怒して す なる人 だと言うのに、お前は神の使徒の すこと全てを き留めるのか？”

アブドッラ ブン アムルは き留めるのを止め、このことを神の使徒に えると、彼はこのように言いました：

“??”????????????????????????

神の使徒への追 は であるという事 は、クルア ンとスンナ、そして法学者たちの合意によって示されています。神はクルア ンにおいて述べられました：

“??”????? ? 4?59?

この 事のウェブアドレス:

https://www.islamreligion.com/jp/articles/655

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。